

特集

精神科訪問看護の実際

精神科訪問看護について実績のあるステーションの、経験から得られたあらかじめ知っておきたい事柄、トラブルへの対処法、醍醐味やポイントを特集します。さらに、多職種がチームを組んで訪問型支援を展開するACTプログラムの実践を紹介し、精神科訪問看護の広がりにつなげていきたいと考えます。

貴藤理恵／森俊文／谷藤伸恵／堀内美智子／久保博美／中井有里／
伊藤順一郎／原子英樹

■シリーズ「クオリティの向上を！——訪問看護の充実をめざして」

超高齢社会・多死時代に訪問看護がめざすこと

宮武剛／高階恵美子／秋山正子／清水嘉与子／伊藤雅治

■特別記事

認知症高齢者の在宅医療——「梶原モデル」の実践を通して 平原佐斗司

■実践報告

医療依存度の高い在宅療養者の防災における危機管理意識向上への取り組み 岡由美子ほか

■新連載

お母さんといっしょ 横谷順子

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時時刻々 石田昌宏／ヒト・モノ・バを
つなぐ認知症ケア 山崎正人／高齢者虐待にどう対応するか 和田忠志／ほんとの出会い 岡田真紀
／100歳までの道のり 城美奈子／訪問看護の現場をあるく 川越博美ほか／自宅で死んでみま
せんか 皆川夏樹

編集
後記

●おかげさまでもちまして 13 巻も 12 号を迎えることができました。読者の皆様に感謝申し上げます。今号の特集テーマは“ネットワーク”。患者と医療・介護提供者、提供者のなかの各職種、さまざまな関係において情報をいかに共有していくかが重要事項となっています。その実践をご参考ください。また、シリーズ「クオリティの向上を！」は、新人教育と管理者教育についての座談会です。特別記事「“マグネットステーション”に共通するもの」にも記載がありますが、管理者へのフォローというものの重要性を強く感じました。……………富岡
●この1年は「マグネットステーションインタビュー」で、インタビューの木村氏と12のステーションに伺いましたが、インタビュー開始から5分もたたないうちに、行なわれている看護のすばらしさに目をみはるといふことのくり返しでした。一方、川越／宮崎両氏による連載「訪問看護の現場をあるく」では、全国のステーションの実践を紹介しつつ、そこで抱える問題をもとに訪問看護の明日に多くの問いかけを発信していただきました。他の連載や特集も含め、「来年こそは！」と、期待がふくらむこの1年であったと思います。……………伊藤

訪問看護と介護 第13巻 第12号（通巻150号） 2008年12月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2008, Printed in Japan
1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめり予約購読料13,200円（年間12冊，消費税，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

〔JCLS〕＜（株）日本著作出版権管理システム委託出版物＞

本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に（株）日本著作出版権管理システム（電話03-3817-5670，FAX03-3815-8199）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。